市民病院の病床数変更案を否決しました

議案名
笠岡市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について

Q どういう議案なの？

A 岡山県知事から許可を得ている一般病床数を１６０床から１２０床に変更することに伴い、条例を改正しようとするものです。

Q どうして否決したの？

A 本会議の質疑でのやりとりで小林市長が
「平成３０年３月に今年度の決算状況を見たうえでの（市民病院の）方向性・考え方を示す」
と回答していたことから、委員会の審査では
「この時期での許可病床数の変更は時期的に早いのではないか。病床数の変更は、今後の病院のあり方を決めていく上で議論をもっとするべき。」
「稼働率の数字的な変更についての改正のための提案であり、市民病院の改革の中身について議論をすべき。」
との意見が多くあり、また、特別委員会の質疑の中で
「この度の改正が行われなくても、特に市民病院の経営や運営に影響があることはない。」
との回答があったことなどから、「否決すべきもの」とし、本会議でもそのように決定しました。

視察に行ってきました

平成２９年度
行政視察
報告③

先進的な取り組みを調査するため視察に行ってきましたので報告します

総務文教委員会

（参加議員）　三谷　渡　森岡聰子　奥野泰久
栗尾順三　田口忠義　藤井義明

10月
17～19

老朽化施設への将来の負担を軽減

北海道釧路市

合併による広大な市域に飛び地、少子高齢化、人口減少、厳しい財政状況の中、多くの老朽化、耐震化といった問題ある施設のマネジメントを行っています。

身の丈に合った公有財産の管理を行うため、長期的視点に立ち、計画的な改修・更新と民間施設の活用を行い、施設の再編、集約、多機能化を進めています。

地区の状況にあわせた小中一貫教育

北海道白糠町

平成２７年よりふるさと教育を推進するため、教員の乗り入れ授業、小６の中学校参観等を行っています。

来年度からは、義務教育学校、施設分離型・施設一体型の小中一貫教育を全町で開始します。特に、義務教育学校は幼保小中一体型で、地域の避難場所として防災機能を兼ね備えた複合型文教施設となっています。

義務教育学校「計根別学園」

北海道中標津町

中１ギャップ、思春期の早期化対応のため、学年を初等・中等・高等部の４－３－２で区切り、１年を基礎・向上・充実期の３学期制で教育を行っています。

特に今年は「心に火をつけ、人間力を鍛える『チーム計根別』」をテーマに教職員と児童生徒、保護者が地域の特性や特色をより深める活動に取り組んでいます。